

# 令和2年度 定期作況報告

(9月20日)

地方独立行政法人  
北海道立総合研究機構  
中央農業試験場

# 水稻の部

水田農業G(岩見沢市)

## I 気象概況

8月下旬:平均気温は平年より0.1℃低く、降水量は平年の121%、日照時間は平年の125%であり、多雨・多照に経過した。

9月上旬:平均気温は平年より2.8℃高く、降水量は平年の26%、日照時間は平年の91%であり、高温・少雨に経過した。

9月中旬:平均気温は平年並、降水量は平年の52%、日照時間は平年の39%であり、少雨・寡照に経過した。

8月下旬から9月中旬までの平均気温は平年より0.9℃高く、降水量は平年の65%、日照時間は平年の86%であった。

8月下旬～9月中旬気象表

項目	8月下旬			9月上旬			9月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	21.0	21.1	△ 0.1	23.3	20.5	2.8	17.9	17.9	0.0	20.7	19.8	0.9
最高気温(℃)	26.8	25.9	0.9	27.5	25.4	2.1	21.7	22.9	△ 1.2	25.3	24.7	0.6
最低気温(℃)	16.3	17.3	△ 1.0	20.0	16.5	3.5	14.5	13.7	0.8	16.9	15.8	1.1
降水量(mm)	74.0	61.3	12.7	17.5	67.1	△ 49.6	34.0	65.6	△ 31.6	125.5	194.0	△ 68.5
日照時間(hr)	72.2	57.8	14.4	48.7	53.4	△ 4.7	20.6	53.4	△ 32.8	141.5	164.6	△ 23.1

注1) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

注2) 表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

## II 作 況

5月20日 平年並

事由:播種は平年より1日早い4月16日に行った。播種後の4月第4半旬は高温に経過し、播種後6日目に出芽揃となった。育苗期間中である4月下旬から5月中旬を通じての平均気温は平年並で、日照時間は平年並からやや下回った。移植は平年並の5月20日に行った。

移植時の苗において、茎数は平年並、主稈葉数は3.0枚で平年並からやや少なく、草丈は10.2~11.2cmで平年並から平年をやや上回った。100本あたりの地上部乾物重は2.24~2.38g、苗の充実度(地上部乾物重/草丈)は0.21~0.22であり、平年並であった。苗の形質は概ね機械移植栽培基準の範囲であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

6月20日 やや不良

事由:移植直後の5月第5半旬にごく低温で経過したため、生育は停滞し、葉の黄化や下位葉の葉先枯れが生じた。6月上旬以降は高温に経過したものの、6月20日における草丈は28.7~29.2cm、茎数は234~325本、主稈葉数は6.8~7.1枚といずれも平年を下回った。

以上により、現在の作況は、やや不良である。

7月20日 やや不良

事由:幼穂形成期は平年並から1日早かったが、6月下旬の低温・寡照により生育が緩慢となったことから、止葉始は平年より1日遅かった。主稈葉数は10.0~10.1枚と概ね平年並か平年をやや下回り、草丈は64.7~65.5cm m<sup>2</sup>あたり茎数は540~677本といずれも平年を下回った。

以上により、現在の作況は、やや不良である。

8月20日 やや不良

事由:7月第6半旬は低温に経過したものの多照であったことから、出穂期および穂揃日数は平年並であった。穂長は「ゆめぴりか」で平年を1.7cm上回ったが「ななつぼし」で0.7cm下回った。稈長は平年を4.0~5.4cm下回り、m<sup>2</sup>あたり穂数は平年比75~85%と平年を下回った。

以上により、現在の作況は、やや不良である。

9月20日 やや不良

事由:9月上旬の高温により登熟の進みは早く、成熟期は平年より3日早く、登熟日数は3日短かった。一穂粒数は平年より1~14%多かったが、穂数が少なかったためm<sup>2</sup>あたり粒数は平年比85~86%であった。稔実歩合、登熟歩合は平年よりそれぞれ1.0ポイント、9.0~10.3ポイント高く、m<sup>2</sup>あたり登熟粒数は平年比96~98%であった(データ略)。

以上により、現在の作況は、やや不良である。

品種名 苗種	ななつぼし 中苗			ゆめぴりか 中苗			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
年次							
播種期 (月.日)	4.16	4.17	△ 1	4.16	4.17	△ 1	
移植期 (月.日)	5.20	5.20	0	5.20	5.20	0	
幼穂形成期 (月.日)	6.29	6.30	△ 1	6.30	6.30	0	
止葉始 (月.日)	7.13	7.12	1	7.15	7.14	1	
出穂期 (月.日)	7.27	7.27	0	7.27	7.27	0	
成熟期 (月.日)	9.11	9.14	△ 3	9.11	9.14	△ 3	
穂揃日数 (日)	7.0	6.8	0.2	7.0	7.0	0.0	
登熟日数 (日)	46	49	△ 3	46	49	△ 3	
生育日数 (日)	148	150	△ 2	148	150	△ 2	
移植時地上部乾物重 (g/100本)	2.38	2.23	0.15	2.24	2.22	0.02	
苗の充実度(地上部乾物重/草丈)	0.21	0.21	0.00	0.22	0.21	0.01	
草丈 (cm)	移植時	11.2	10.4	0.8	10.2	10.4	△ 0.2
	6月20日	28.7	29.9	△ 1.2	29.2	30.2	△ 1.0
	7月20日	64.7	69.1	△ 4.4	65.5	70.0	△ 4.5
茎数 (移植時:本/個体) (その他:本/m <sup>2</sup> )	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
	6月20日	234	332	△ 98	325	398	△ 74
	7月20日	540	755	△ 215	677	869	△ 192
主稈葉数 (枚)	移植時	3.0	3.1	△ 0.1	3.0	3.3	△ 0.3
	6月20日	6.8	7.1	△ 0.3	7.1	7.3	△ 0.2
	7月20日	10.0	10.2	△ 0.2	10.1	10.5	△ 0.4
	止葉	10.0	10.2	△ 0.2	10.1	10.5	△ 0.4
稈長 (cm)	64.3	68.3	△ 4.0	61.2	66.6	△ 5.4	
穂長 (cm)	15.6	16.3	△ 0.7	18.3	16.6	1.7	
穂数 (本/m <sup>2</sup> )	533	707	△ 174	688	811	△ 123	
一穂粒数 (粒/本)	57.0	49.8	7.2	42.5	42.2	0.3	
m <sup>2</sup> あたり粒数 (百粒)	304	352	△ 48	292	342	△ 50	
稔実歩合 (%)	94.2	93.2	1.0	93.0	92.0	1.0	
登熟歩合 (%)	92.0	83.0	9.0	88.4	78.1	10.3	
籾摺歩合 (%)		76.0			73.6		
屑米歩合 (%)		6.7			9.6		
精玄米千粒重 (g)		22.6			23.2		
わら重 (kg/a)		66.7			67.0		
精籾重 (kg/a)		77.2			76.6		
精玄米重 (kg/a)		58.7			56.4		
屑米重 (kg/a)		4.2			6.0		
収量平年比 (%)		100			100		
検査等級		2上			2上		

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成27年(最豊)、30年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

土壌 : 細粒グライ土  
 施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=8.0-9.7-6.9 kg/10a  
 播種量 : 中苗紙筒=130cc/箱  
 栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/m<sup>2</sup> 4本植え  
 移植方法 : 手植え  
 反復 : 2

注3) 刈り取り面積は一区3.56m<sup>2</sup>。精玄米千粒重、精玄米重および屑米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

注4) 登熟歩合は枝梗や芒を取り除いた籾を比重1.06の食塩水によって調査した。

# 畑作の部

作物G(長沼町)

## I 気象概況

令和2年8月下旬～9月中旬までの概況は次のとおりである。

8月

下旬：平均気温は平年並、降水量は平年の121%、日照時間は平年の137%であり、平年より多雨・多照であった。

9月

上旬：平均気温は平年より2.6℃高く、降水量は平年の98%、日照時間は93%であり、平年より高温であった。

中旬：平均気温は平年並、降水量は平年の66%、日照時間は40%であり、平年より少雨・寡照であった。

以上、1ヶ月を通じ、平均気温は平年より0.8℃高く、降水量は平年の93%、日照時間は平年の90%であった。

## 気象表

道総研中央農試(マメダス中央農試本場)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
8月	下旬	20.4	20.4	0.0	25.9	25.1	0.8	15.9	16.5	△ 0.6	58.5	48.3	10.2	3.0	3.2	△ 0.2	73.6	53.8	19.8
9月	上旬	22.5	19.9	2.6	26.4	24.8	1.6	19.6	15.7	3.9	58.5	59.9	△ 1.4	4.0	2.9	1.1	49.4	53.1	△ 3.7
	中旬	17.3	17.3	0.0	21.1	22.5	△ 1.4	14.1	12.8	1.3	41.5	62.5	△ 21.0	7.0	3.6	3.4	21.3	53.3	△ 32.0
平均(合計)		20.1	19.2	0.8	24.5	24.2	0.3	16.5	15.0	1.5	158.5	170.7	△ 12.2	14.0	9.7	4.3	144.3	160.2	△ 15.9

注1) 気象データはマメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

1. 秋まき小麦 記載事項なし

2. 春まき小麦 記載事項なし

3. 大豆

6月20日 平年並

事由:播種期は平年より3日早い5月19日、出芽期は2日早い5月31日であった。主茎長はやや長く、主茎節数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日 平年並

事由:開花期は平年より5日早い7月11日であった。主茎長はやや長く、主茎節数はやや少ない。分枝数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日 やや不良

事由:前節7月中旬から8月上旬にかけて、降水量が少なく、干ばつ傾向に経過したことから、主茎長は平年よりやや短く、着莢数もやや少ない。前節に引き続き、主茎節数はやや少なく、分枝数は平年並である。

以上により、現在の作況はやや不良である。

9月20日 やや不良

事由:前節同様に、主茎長は平年よりやや短く、主茎節数はやや少ない。分枝数は平年並である。着莢数は、平年比81%と少ないが、登熟は順調に進んでいる。

以上により、現在の作況はやや不良である。

品種名		トヨムスメ		
		本年	平年	比較
項目 \ 年次				
播種期	(月.日)	5.19	5.22	△ 3
出芽期	(月.日)	5.31	6.2	△ 2
開花期	(月.日)	7.11	7.16	△ 5
成熟期	(月.日)		9.30	
主茎長 (cm)	6月20日	12.3	10.0	2.3
	7月20日	44.4	39.6	4.8
	8月20日	47.7	51.6	△ 3.9
	9月20日	46.3	51.6	△ 5.3
	成熟期		51.9	
主茎節数 (節)	6月20日	3.0	2.9	0.1
	7月20日	8.8	9.4	△ 0.6
	8月20日	8.8	9.9	△ 1.1
	9月20日	8.7	9.9	△ 1.2
	成熟期		10.0	
分枝数 (本/株)	7月20日	6.8	6.6	0.2
	8月20日	7.0	7.3	△ 0.3
	9月20日	7.0	7.1	△ 0.1
	成熟期		6.9	
着莢数 (莢/株)	8月20日	66.6	75.6	△ 9.0
	9月20日	56.9	70.2	△ 13.3
	成熟期		68.8	
一莢内粒数		1.92		
子実重 (kg/10a)		413		
百粒重 (g)		38.1		
屑粒率 (%)		1.1		
品質 (等級)		2中		
子実重平年対比 (%)		100		

注) 平年値は前7カ年中、平成30年(最凶)、26年(最豊)を除く5カ年平均。

#### 4. 小豆

6月20日作況：やや良

事由：播種期は平年より2日早い5月23日であった。播種後、干ばつ傾向で経過したため出芽にややバラツキは見られたが、出芽期は平年より4日早い6月9日であった。6月20日現在で主茎長、主茎節数ともに平年を上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

7月20日作況：良

事由：6月下旬はやや低温に経過したが、7月以降は平年並みに経過し、適度な降水があった。このため、開花期は平年より6日早かった。7月20日現在、主茎長は平年より長く、主茎節数はやや多く、分枝数は多い。

以上により、現在の作況は良である。

8月20日作況：不良

事由：気温は、7月下旬が平年よりやや低く、8月上旬以降は平年並みからやや高く推移した。期間を通じて降水量はかなり少なかった。このため、干ばつの影響を強く受けて生育が抑制され、分枝数は平年より多いが、主茎長は平年より著しく短く、主茎節数はやや少なかった。中・上位節の着莢が不良で、着莢数は平年の7割程度と少ない。

以上により、現在の作況は不良である。

9月20日作況：不良

事由：成熟期は平年より18日早い8月27日であった。成熟期における主茎長は平年より著しく短く、主茎節数はやや少なく、分枝数は多かった。着莢数が平年の85%と少なく、一莢内粒数も平年の89%と少なかった。

以上により、現在の作況は不良である。

品種名 項目 \ 年次		エリモシヨウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月. 日)	5. 21	5. 24	△ 3
出芽期	(月. 日)	6. 04	6. 13	△ 9
開花期	(月. 日)	7. 20	7. 26	△ 6
成熟期	(月. 日)	8. 27	9. 14	△ 18
主茎長 (cm)	6月20日	7. 2	4. 0	3. 2
	7月20日	28. 9	17. 7	11. 2
	8月20日	38. 9	62. 5	△ 23. 6
	成熟期	41. 5	64. 1	△ 22. 6
主茎節数 (節)	6月20日	2. 3	1. 6	0. 7
	7月20日	9. 0	8. 1	0. 9
	8月20日	13. 4	14. 7	△ 1. 3
	成熟期	13. 2	14. 4	△ 1. 2
分枝数 (本/株)	7月20日	6. 6	2. 9	3. 7
	8月20日	5. 9	3. 7	2. 2
	成熟期	5. 9	3. 8	2. 1
着莢数 (莢/株)	8月20日	40. 2	56. 8	△ 16. 6
	成熟期	44. 5	52. 3	△ 7. 8
一莢内粒数		5. 50	6. 17	△ 0. 67
子実重	(kg/10a)		330	
百粒重	(g)		13. 3	
屑粒率	(%)		5. 5	
品質	(等級)		4上	
子実重平年対比	(%)		100	

注1) 平年値は前7カ年中、平成29年(最豊)、平成25年(最凶)を除く5カ年平均。

ただし、平成30年は6月20日時点で出芽期に達していなかったため、6月20日の主茎長と分枝数は平成30年も除いた4カ年平均。

## 5. ばれいしょ

5月20日作況：平年並

事由：本年の根雪終（融雪剤無散布）は平年より13日早い3月21日で、植付期は平年より1日早い4月24日、萌芽期は平年より5日早い5月18日であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況：平年並

事由：6月の気温が高く経過したため、開花始は平年より4日早い6月15日であった。降水量はかなり少なかったが影響はなく、茎長は平年並み、茎数は平年よりかなり多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：平年並

事由：6月下旬はやや低温に経過したが、7月以降は平年並に経過し、適度な降水があった。茎長は平年よりやや短い、茎数は平年よりかなり多い。すでに茎葉の黄化が始まっているが特に病害発生はみられない。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日作況：やや良

事由：気温は、7月下旬はやや低く、8月上旬以降は平年並からやや高く推移したため茎葉の黄変は進んだが、8月中旬の降雨により残った茎葉が二次成長気味となっているため、8月20日現在、枯凋期に達していない。上いも平均一個重は平年並で、株当たりの上いも数がやや多く、上いも重は平年比108%、でん粉価は平年並であった。

以上により、本年の作況はやや良である。

9月20日作況：良

事由：枯凋期は平年より14日遅い9月1日であった。上いも平均一個重は平年並、株当たりの上いも数はやや多く、上いも重は平年比109%、でん粉価は平年よりやや低かった。



品種名		男爵薯		
		本年	平年	比較
項目 \ 年次				
植付期	(月.日)	4.24	4.25	△ 1
萌芽期	(月.日)	5.18	5.23	△ 5
開花始	(月.日)	6.15	6.19	△ 4
枯凋期	(月.日)	9.01	8.18	14
茎長	6月20日	38	37	1
(cm)	7月20日	43	47	△ 4
茎数	6月20日	5.7	4.3	1.4
(本/株)	7月20日	5.9	4.5	1.4
8月20日における				
上いも数	(個/株)	12.4	11.7	0.7
上いも平均一個重(g)		91	90	1
上いも重	(kg/10a)	5007	4624	383
でん粉価	(%)	15.7	15.5	0.2
枯凋期における				
上いも数	(個/株)	12.5	11.8	0.7
上いも平均一個重(g)		91	90	1
上いも重	(kg/10a)	5060	4658	402
中以上いも重(kg/10a)		4331	3986	345
でん粉価	(%)	15.0	15.5	△ 0.5
上いも重平年対比 (%)		109	100	9
中以上いも重 "	(%)	109	100	9
でん粉価 "	(%)	97	100	△ 3

注) 平年値は前7か年中、平成28年(最豊)、30年(最凶)を除く5か年平均。

「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。